



グループ E / Group E

未来を良くするために、お金でできることを考えよう

Let's think about what money can do to make the future better

メンバー / Members:

石倉ほのか(いしくらほのか)さん、 **ISHIKURA, Honoka**

川原 士(かわはらつかさ)さん、 **KAWAHARA, Tsukasa**

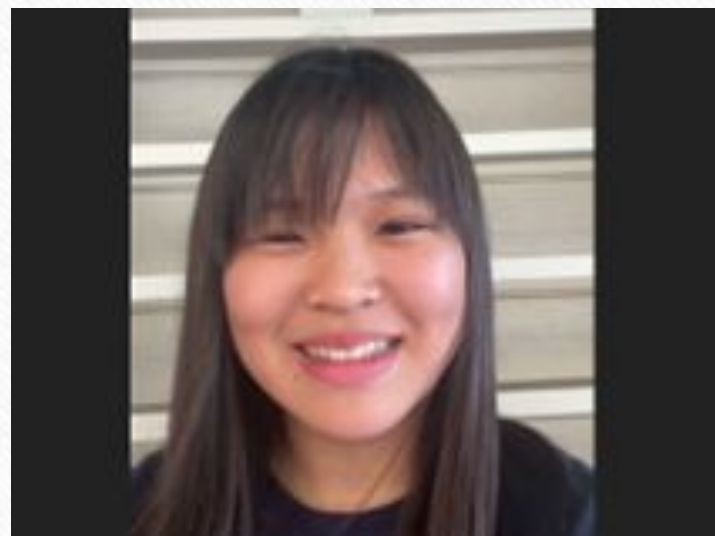
近藤 丞太郎(こんどうじょうたろう)さん、 **KONDO, Jotaro**

高草空生(たかくさそらい)さん、 **TAKAKUSA, Sorai**



2025. 8. 6

グループEメンバー紹介 / Member Introductions



石倉ほのかさん

(いしくら ほのか)

ISHIKURA,
Honoka



川原 士さん

(かわはらつかさ)

KAWAHARA,
Tsukasa



近藤丞太郎さん

(こんどうじょうたろう)

KONDO,
Jotaro



高草空生さん

(たかくさそらい)

TAKAKUSA,
Sorai

私たちは「教育」にお金をかけることによって、
幸せを享受できると考えました。

We believed that investing in “education”
would bring us “happiness”.



川原 士(かわはらつかさ) さん/KAWAHARA, Tsukasa



通っている学校の未来を考えたとき、通学が大変な人も学べるよう、インターネット上の授業プラットフォームを全国に導入したいと考えました。

I want to introduce an online learning platform nationwide so that even students who find commuting difficult can study.

問題意識 / Problem Awareness:

離島や遠方(通学に60分以上かかる人)では通学による疲労で集中できず、通学が負担で学びにくい人がある。地球環境(CO2排出)にも悪影響する。世界的にも教育の機会が不平等になる。

Long commutes cause fatigue and reduce focus, making it harder to learn. It also harms the environment and creates educational inequality.

解決策 / Proposed Solutions:

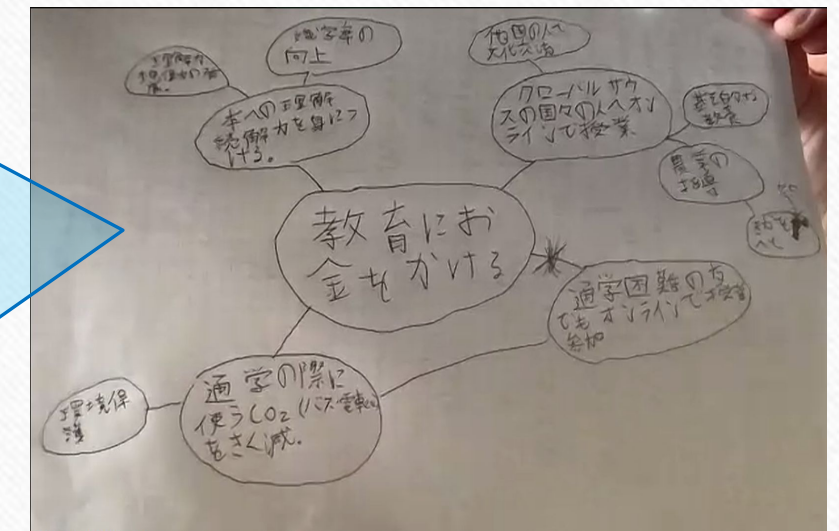
全国規模で、インターネット授業用のプラットフォームを導入。

結果として環境負荷(交通手段削減によるCO2減)にも貢献できる。

オンライン授業を活用し、通学困難者も学びやすくする。

完全オンラインではなく、週2~3回登校日を設け、交流機会(体育・部活)を促す。

Introduce an online class platform nationwide to support students with commuting difficulties. This also reduces CO2 emissions. And include 2-3 in-person school days per week for PE and club activities and interaction.





近藤 丞太郎(こんどう じょうたろう)さん/KONDO, Jotaro

今住んでいる地域の未来を考えたとき、若者の読書機会を増やすための移動型図書館や読書スペースの設置が必要と考えました。

To increase reading opportunities for young people, we need to introduce mobile libraries and create reading spaces in the community.

問題意識 / Problem Awareness:

図書館が遠く、アクセスが悪いため、本を読む機会が減っている。本が売れないから、出版社が減ると本が手に入らなくなり、情報格差が生じる(スマホ・インターネットがない人も)。

People have fewer chances to read because libraries are far away. As book sales decline, the number of publishers is also decreasing. This makes books harder to access, increasing the information gap, especially for people without smartphones or internet access.



解決策 / Proposed Solutions:

公共施設などに読書スペースを設置する。

市区町村が一部費用負担する。

本の提供や出張／移動図書館を導入する。

Set up reading spaces in public facilities with partial funding from local governments. Provide books and introduce mobile libraries.

高草空生(たかくさそらい)さん、 TAKAKUSA, Sorai

世界の未来を考えたとき、途上国の飢餓や農業問題を教育で解決させたいと考えました。
Thinking about the future of the world, I want to solve hunger and agricultural issues in developing countries through education.

問題意識 / Problem Awareness:

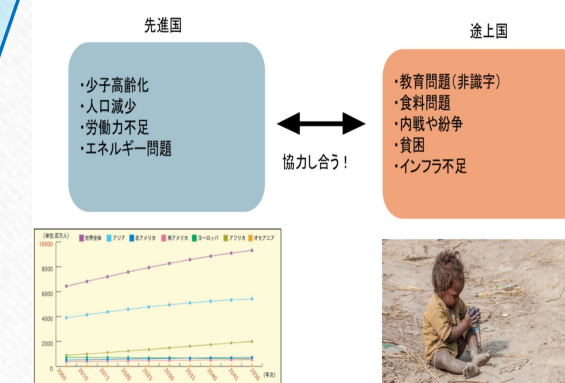
グローバルサウスでの飢餓・食料不足問題や輸入量の減少・人口減少などの世界的課題。
読み書きができない子どもたち、また、農業・食料に関する知識が不足している。
The Global South faces hunger and food shortages. Global issues like reduced imports and population decline also affect this. Many children cannot read or write, and lack knowledge about farming and food.

解決策::

農業学校を設置し、食に関する知識・技術・土づくりの指導。
単なる物資支援ではなく、「教育」によって自立支援。オンライン授業で
現地の人に教育し(遠隔指導)、実際に現地で教える教師の派遣も行
う。読み書き教育で選択肢(職業など)を広げる。
Establish agricultural schools to teach food, farming, and soil
development. Focus on support through education, not just
supplies. Use online classes and send teachers to local areas.
Teach reading and writing to expand career opportunities.



グローバルな課題: 国ごとの格差



グローバルな課題: 国ごとの格差

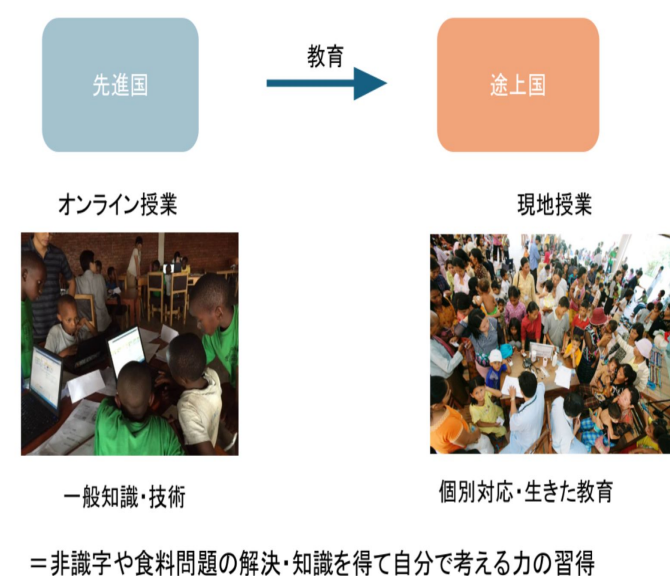


協力によって生まれるメリット



- ・世界の現状の把握
- ・教育によって育った人材の確保
- ・エネルギーの確保
- ・食料の確保

具体的な教育方法



私たちは「教育」にお金をかけることによって、
幸せを享受できると考えました。

We believed that investing in “education”
would bring us “happiness”.

グループE

未来を良くするために、お金でできることを考えよう

私たちは「教育」にお金をかけることによって、
幸せを享受できると考えました。

これまでのアイデアや議論について

対象や範囲	困っていること・解決したいことは何？	解決のために何にお金を使う	第1回ワークショップで考えたアイデア等
A:通っている学校の未来	通学するが大きな生徒がいる（1時間かかる、集中力がなくなる、疲れる）	環境を考慮し、生徒が90分以上の通学時間を要する場合、バスの利用よりもオンライン授業をする（交通機関のCO2削減につながる）。Zoomの設備に時間をかけても、するべき。PC・Zoomにかかるエネルギーに比べ、交通機関の方がエネルギー（CO2）の排出が高いだろう。	Zoom、オンライン授業Vs.学校の良さもある（他の手段：自転車の利用との意見）。 （小学校）自転車通学にする ↓ 学校の意義VS疲れては学ぶことはできない（学校とは、学ぶ場）・・・両方 ・学校の良さがある（通1回は学校） ・雇員のことを考えるとオンラインも必要
B:今住んでいる地域の未来	本を読む機会がない、近くに図書館がなく遠い、知識の欠如の問題 出版社・執筆者がお仕事なくなる。出版社がなくなると手に届かなくなる。スマホを持っていない人もいる、情報・知識を得られない。	出張/移動式図書館、バス、公共施設に本を置く、本の購入	出版社のサイトから本の閲覧が可能であるのに、それだけではだめか？（※PC、タブレット、スマホ、安定したインターネットがない家庭もある） ・学校（将来にしたい仕事等に関する本）・街・役場等に移動図書館がやってくる。過疎地域 ・雇員などにも移動図書館が行くことの良さ
C:世界（グローバル）の未来	世界の食糧問題（ニュース）、飢餓、人口減る、輸入できる量が減る（他の国にも影響）	農業学校を設置し、食物に関する知識、土づくり、改善の対策。 援助の方法：物質的、モノ、金銭的なもののみならず、技術、現地の人に教えること（教育）。	オンライン授業で現地の人に教える。（通関でもできる） ※大きなスクリーンに映すなど 発展途上国の問題：貧困（読み書きができない） ・教育を受けることで選択肢の幅（仕事など）が広がる ・海外の問題だけでなく国内で問題を抱えているところもある

未来をよくするために

教育にお金をかけることで

①学校：教育格差をなくし、教養を身に着ける。教育の水準を上げる
②地域：本を読み、将来について考えることができる。誰一人も取り残さない。
③グローバル：途上国を少なくすることができる。職業の選択肢の幅が広がる。人にお金をかける。

グループEメンバー：
近藤 丞太郎さん、高草空生さん、
石倉ほのかさん、川原土さん



Thank
You

